

事務連絡
平成25年5月13日

各都道府県トラック協会
専務理事 殿

(公社)全日本トラック協会
常務理事 齋藤 直也

「DPFの不具合」に係る情報提供について（ご協力のお願い）

平素は種々ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、連続再生式DPF搭載車両においては、「ススが詰まって頻繁に手動再生しなければならず、業務に支障が出ている」、「DPFの修理で高額な修理代を請求された」などの不具合が多発しており、全ト協が昨年6月に実施したアンケート調査では、DPF搭載車両の2割、事業者では全体の7割にDPFの不具合が発生していることが判明しました。このため、国土交通省に当問題の改善を要請したところ、当面の対策として、DPF搭載車両の適正な使い方に関してユーザーに周知することとし、昨年12月に国土交通省、メーカーならびに当協会のホームページ等で啓発チラシを公表¹したところです。

しかしながら、適正な使い方をしていながらも不具合が発生する事例については、個々の事例情報を国土交通省等関係行政機関に提出し、リコール等を含めた更なる改善要望をしていくこととしております。このため、全ト協ホームページ上に「DPF不具合情報ホットライン」を開設し、不具合情報の提供を受け付けておりますが、4月末までに寄せられた情報は20件と非常に少なく、改善要望を行うことが難しい状況にあります。

つきましては、添付の情報提供を呼びかけるチラシを送付いたしますので、貴協会の機関紙（誌）、ホームページ等に掲載していただくほか、貴協会ホームページ上に「DPF不具合情報ホットライン」（<http://www.jta-dpf.jp/>）へのリンクを張っていただくなど、会員事業者への周知と情報提供の呼びかけに、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

* 1 DPFの適正な使い方 (http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_fr1_000035.html)

<チラシについて>

チラシのPDFファイルを各都道府県トラック協会の代表メールアドレスに送信いたします。イラストレーターファイルをご希望の協会は、下記までご連絡ください。

<問い合わせ先>

交通・環境部 齋藤

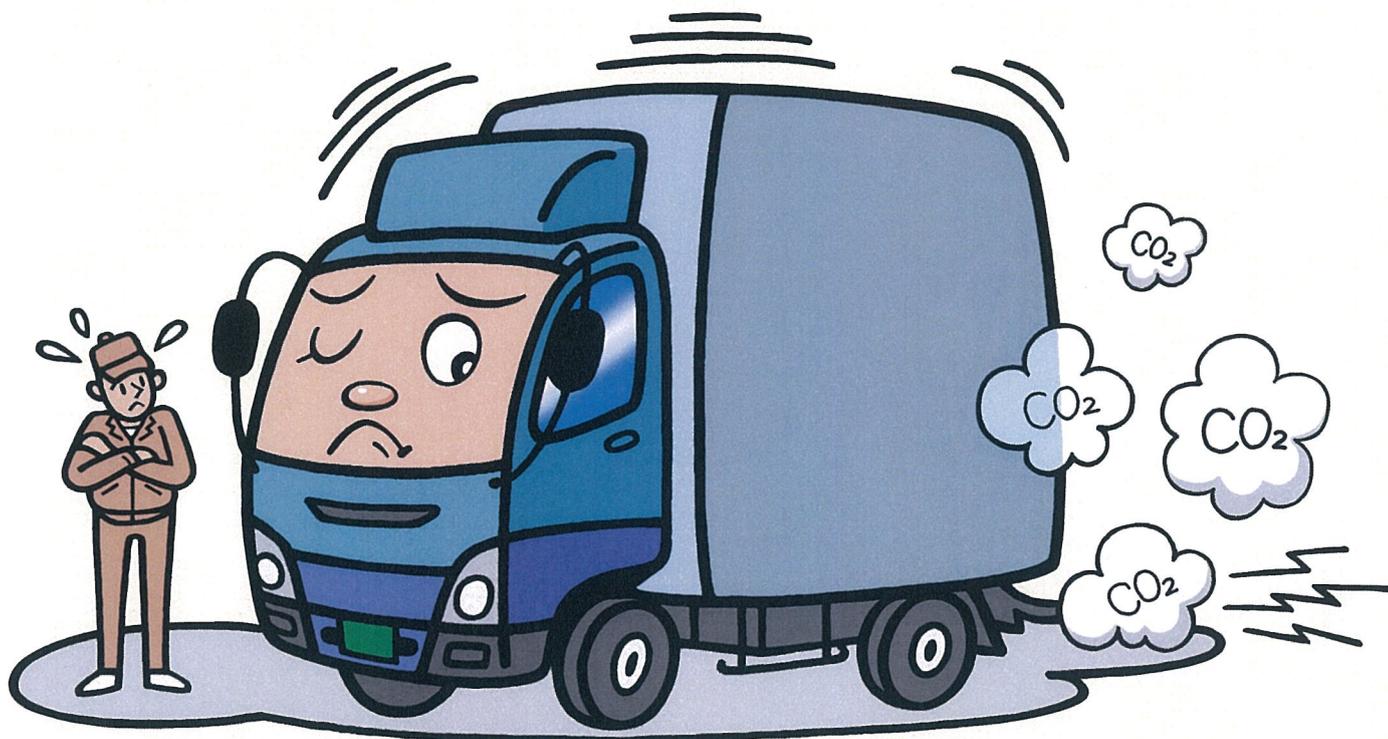
TEL：03-5323-7243（ダイヤルイン）

e-mail：a-saito@jta.or.jp

DPFの不具合で

困っていませんか？

- DPFが詰まって頻繁に手動再生しなければならない ●手動再生しても詰まりが取れない
- 手動再生で余分な時間を取られ、業務に支障が出ている ●DPFの修理で高額な修理代を請求された
- 手動再生ができない ●手動再生をしていると荷主や近隣住民から騒音や臭いでクレームを言われる



DPFを正しく使っているのに…

- ✓ 定期点検、車検を確実に実施している
- ✓ 低硫黄軽油を使用している
- ✓ メーカー指定のエンジンオイルを使用している

情報提供下さい。
不具合は

「DPF不具合情報ホットライン」
<http://www.jta-dpf.jp/>

全日本トラック協会は、皆様の声をもとに行政へ申し入れを行い早期改善に努めてまいります。

 公益社団法人
全日本トラック協会

*詳しくは、全日本トラック協会のホームページ (<http://www.jta.or.jp>) をご覧ください。